

一番使う
モノだから...

基本は抑えておきましょう!

今回は、OSが変わっても使い方は変わらない「マウス」について書きたいと思います。いつも手元にあり、私達とパソコンをつないでくれるものなので、もう少しマウスについて知ってみませんか?

まずは設定を確認

ほとんどの方はマウスの設定を買った時のままお使いではないでしょうか。まずは現在の設定を見てみましょう。今の操作性に不満を感じる方はもちろんの事、満足している方も「おやっ、こんな設定もできるんだ!」という事もあるかも知れません。設定はコントロールパネルで確認できます。

■こんな症状で困っているなら・・・(初級編)

- ダブルクリックがうまく反応しない
- カーソルをすぐに見失う
- カーソルの移動速度が遅い

コントロールパネル

マウスのプロパティ画面を開きましょう。

- 「ボタン」タブの**ダブルクリックの速度**を調整
- 「ポインタ」タブの**デザイン**を変更
- 「ポインタオプション」タブの**速度**を調整



■もっと使いやすくするなら・・・(中級編)

- 複数行をワンクリックで選択
- カーソルを既定のボタンへ移動

コントロールパネル

- 「ボタン」タブの**クリックロック**をチェック
- 「ポインタオプション」の**動作**をチェック
- 他にもマウスポインタの位置の確認機能などもあります。プロパティ画面をチェックしましょう。

クリックロックとは? 複数行のテキストを選択する際、選択位置の最初の位置でクリック、最後の位置でもう一度クリックすれば選択範囲を確定できる機能です。マウスボタンを押し放しにしながらドラッグする必要が無く、慣れれば便利な機能です。

ホイールマウスを使いこなせ!

最近ではほとんどのマウスがホイールマウスですね。画面のスクロールが簡単にできるので、作業効率がとてもアップします。このホイール機能にも設定がありますのでご紹介します。

と言っても設定できるのは**スクロール量**だけなのですが、**スクロール行数の設定**のほか、**1画面ずつスクロール**させることもできます。プレゼンテーションなどでは1画面ずつスクロールさせる機能は重宝しそうですね。ホイールマウスの機能としては、「Ctrl」キーを押しながらスクロールさせると、**表示倍率を変更**する事ができます。ワードやエクセルのほか、PDFファイルなどでも使える機能です。

オートスクロールも便利な機能です。ホイールボタンをクリックすると、上下または上下左右方向の▲マークのカーソルが現れます。カーソルをスクロールさせたい方向に移動すると、画面がその方向にスクロールします。この機能はインターネットエクスプローラなどのWebブラウザで利用できますが、全てのブラウザ、全てのホイールマウスで利用できるものではないようなので、一度ご自分の環境で確認してみてください。

もう一つインターネット使用中の便利な技があります。リンク文字上にカーソルを合わせ、「Shift」キーを押しながらスクロールするとページがリンク先に変わります。これだけなら普通にリンク文字をクリックする方が簡単ですが、「Shift」キーを押しながら**反対方向へスクロール**すると元のページに戻ります。「戻る」ボタンの代わりに利用できます。検索ページからいろんなページに行ったり来たりする場合などに使えるのではないのでしょうか。

最近流行(?)のレーザーマウス、どこが違うの?

マウスを分類すると、大きく「**ボール式マウス**」「**光学式マウス**」に分けられます。光学式マウスの中にレーザーマウスが入ります。従来の光学式マウスは、光源に**LED**を使用していました。この光源を**レーザー**にして**感度や精度を高めた**ものがレーザーマウスです。従来の光学式マウスでは使用できなかった**光沢面や不透明ガラスの上でも使用出来る**ようになっています。(ただし鏡は不可)簡単にまとめると、感度、精度の良い光学式マウスで、これからの主流になるマウスという事です。



使えるWordのテクニック

Office2007が出ましたが、Office2000はまだまだ現役です。ここではWordのちょっとしたテクニックをご紹介します。

■オートコレクトを解除する

ワードは、自動でいろんな処理をしてくれますが、中にはおせっかいと思われる機能もあります。例えば「i-mode」と入力すると、「i」が大文字になり、「I-mode」になる場合があります。これはワードの「**オートコレクト**」機能が自動で変換してしまうのです。「i」が大文字になった時に「Ctrl」+「Z」キーを押せば**小文字に戻りますが**、設定変更で自動変換を止める事もできます。「ツール」→「**オートコレクト**」を開きます。「**文の先頭文字を大文字にする**」のチェックを外します。

普通はこれで良いのですが、画面下の一覧に登録されている単語には効きませんので注意。

一覧から削除するとオートコレクト対象ではなくなりますので、入力通りに表示されるようになります。「**入力オートフォーマット**」タブには、**箇条書きの設定**やインターネット

アドレス、メールアドレスを**ハイパーリンク**として表示する機能の設定など、多くの機能の設定があります。各種の設定を利用環境に最適化すれば、**あなただけのワード**が出来上がります。オートコレクトはエクセルやパワーポイントなどにもあり、それぞれ個別に設定する必要がありますのでお忘れなく。

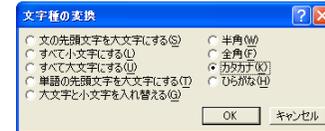
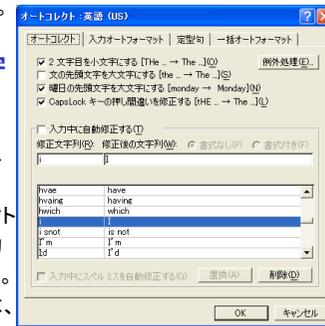
「**入力オートフォーマット**」タブには、**箇条書きの設定**やインターネット

アドレス、メールアドレスを**ハイパーリンク**として表示する機能の設定など、多くの機能の設定があります。各種の設定を利用環境に最適化すれば、**あなただけのワード**が出来上がります。

■全角半角を一括変換

文章を書いているといつの間にか全角と半角が混在してしまったりして、後から変換や置換をしていませんか。ワードでは**全角と半角**、**ひらがな**、**カタカナ**などを一括で指定する事が簡単にできます。変換する範囲を選択して「**書式**」→「**文字種の変換**」を選択します。

変換の種類を選択して「OK」をクリックすれば、アッという間に**変換完了!**覚えておいてください。



開発室から

ここ数日、自宅のパソコンを触ってなかったら、友人から「メール送ったけど戻って来たよ」と言われあわててメールを受信すると、2MB、3MBの写真が添付されたメールが山のようにきました。友人からの旅行写真でしたが、どうやらサーバのメールボックスがいっぱいになっていました。送信前に電話をくれたらよかったのに・・・。